



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1964, 33(1)

ISSUE DATE:

1964-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/205694>

RIGHT:

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 33. 1964

日本外科宝函

第 33 卷

昭和 39 年

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch. Jap. Chir.)

京都大学医学部外科整形外科学教室内
日本外科宝函編集室

(日.外.宝)

第33巻 総目次

原 著

脳幹性アレスト反応の電気生理学的研究	岡 宏 (1)
C3H系マウス自然発生乳癌の自動免疫	小 野 博 通 (16)
血中腫瘍細胞についての臨床的実験的研究	内 田 耕 太 郎 (24)
外科的肝腎関係に就いての実験的研究	内 山 輝 美 (53)
門脈犬の肝病態生理	登 根 一 広 (79)
主腫瘍切除後の領域転移リンパ節の態度 (実験的研究)	崎 田 重 康 (153)
急性門脈完全遮断に対する一時的門脈、或は上腸間膜静脈-股静脈 Bypass に 関する実験的研究	北 川 勳 (178)
硬変肝の肝内神経について	長 谷 部 祐 継 (220)
インシュリン投与下に於ける睪全別雌犬の Estrogen の態度	西 川 真 澄 (252)
門脈内「ビニール管」挿入に関する実験的研究	宮 沢 英 夫 (275)
Nitrogen Mustard 処理モルモット血清のモルモットに対する抗原性について	朝 隈 六 郎 (297)
脳浮腫の生化学的研究	荏 原 光 夫 (314)
脳下垂体腺腫の電子顕微鏡的研究	福 光 太 郎 (329)
いわゆる "Giant-Cell Glioblastoma" の組織起原に就いての一考察	福 光 太 郎 (350)
実験的脳低酸素血症及び梗塞の組織化学的研究	鈴 木 敏 (361)
海綿状血管腫に対する沃度剤その他薬物注入療法並びにその神経組織学的研究	島 田 喜 一 郎 (377)
脳白質浮腫発生機序に関する電子顕微鏡学的観察	谷 栄 一 (469)
P ₃₂ による脳腫瘍のアイソトープ摂取量と組織学的所見について	三 谷 哲 美 (484)
犬に於ける頸動脈血栓の作成並びに治療に関する実験的研究	吉 田 耕 造 (502)
ラッテ移植肝腫瘍に対する区域的門脈血遮断の効果	広 野 禎 介 (526)
胃癌における腸間膜リンパ節の反応と予後	西 尾 功 (561)
低体温法による腫瘍細胞の生体内同調分裂及び癌化学療法への応用	三 浦 律 男 (581)
胆石、特にコレステロール系結石の成因に関する実験的並びに臨床的研究	日 笠 頼 則・他 (601)
アルミナクリーム視床下部注入による成熟雄猫内分泌臓器の 病理学的変化に関する実験的研究	嵐 修 康 (617)
病原ブドウ球菌による手術室汚染とその対策に関する研究	高 宅 洙 (626)
実験的急性睪炎に於ける Trypsin の動態	新 田 隆 敬 (703)
低体温法の制癌化学療法への応用に関する実験的研究	加 藤 忠 雄 (724)
マイトマイシンあるいはトヨマイシン処理エールリッヒ癌組織による 自動免疫学的研究	永 松 良 夫 (753)
超音波パルス法、特にAスコープ方式による脳腫瘍診断に関する実験的、臨床的研究	伊 藤 和 文 (770)
侵襲による尿中の Plasminogen activator 及び Trypsin inhibitor に関する研究	小 野 久 弥 (800)
脾臓と甲状腺の相互関係に関する研究	井 波 健 一 (849)
腹腔動脈内 Nitrogen Mustard N-Oxide 注入時に於ける胸管リンパ液内濃度	諏 訪 正 美 (876)
淋巴性神経節炎に関する実験的研究	曾 柳 村 (896)
松下体部と身体生殖器との関係について	姫 野 純 也 (913)
生物組織特に脳組織の超音波減衰度測定に関する研究	石 川 滋 (923)
浮腫脳における脂質代謝、実験的脳浮腫における糖脂質代謝	辻 宏 (995)
主病巣切除後の担癌宿主の抵抗性	水 本 龍 二・他 (1009)
胃癌の十二指腸進展に関する形態学的研究	森 岡 哲 吾 (1023)
門脈・下大静脈吻合術後の胃液分泌機能に関する研究	佐々木 俊・他 (1050)
実験動物腫瘍の増殖に及ぼす Cibberlin の影響	小 無 田 浩 (1060)
アルキル化剤に対する Sobium thiosulfate の中和作用に就いて	植 木 稠 雄 (1082)

臨 床

頸椎椎間板ヘルニアの手術成績	野 末 洋 (101)
悪性虫垂カルチノイドの1例	森 渥 視・他 (120)
頸髄損傷の神経学的分類	恩 地 裕・他 (404)
関心術の経験	日 笠 頼 則・他 (411)
Aceyl Cysteine の臨床経験	松 尾 裕 (428)
異型右鎖骨下動脈による Dysphagia lusoria に対する新手術法	石 上 浩 一・他 (812)
消化管手術前後における蛋白同化ステロイドの使用経験	岡 島 邦 雄・他 (831)
血液凝固系に及ぼす影響から見た人工心肺充填血の選択	龍 田 憲 和・他 (941)
左心房内粘液腫と巨大血栓, 併せて僧帽弁弁膜症に対する	

外科的療法の問題点について	龍 田 憲 和・他 (948)
Fibrin 薄膜の製法とその性状について	佐 古 英 二・他 (959)
聴神経腫瘍に類似せる症候群を示す橋脳グリオーマ	景 山 直 樹・他 (1116)
Laxonalin の臨床効果	長 田 博 之・他 (1122)

症 例

門脈圧亢進症に対し mesenteric-caval shunt 造設が奏効した2例	三 崎 英 生・他 (134)
Silent Gallstone の手術適応について	戸 部 隆 吉・他 (140)
マンソン氏リグラ状裂頭条虫の皮下寄生の1例	吉 野 位・他 (145)
乳児臍ヘルニア嵌屯の1例	重 永 正 之・他 (148)
頸部食道癌切除後に遊離結腸の移植を行なった1例	大 沢 一 博・他 (434)
若年者胃十二指腸潰瘍の4例	本 庄 一 夫・他 (439)
原発性胃細網肉腫の1例	森 岡 哲 吾・他 (445)
乳幼児腸重積症の治療	池 内 彰・他 (450)
内分泌非活性副腎皮質癌の1例	荒 木 靖 生・他 (453)
乳児にみられた悪性仙尾部奇形腫の1例	門 脇 宏・他 (458)
興味ある多発性骨髄腫の症例	広 谷 速 人・他 (650)
左葉全摘術により治癒せしめた原発性肝線維肉腫の1例	山 内 陽 一・他 (665)
自然気胸の8例について	上 道 哲・他 (671)
1小児例にみられた Chilaiditi 症候群	遠 渡 正 夫・他 (678)
整形外科的疾患に対する蛋白同化ホルモン SC-7525の使用経験	松 森 茂・他 (683)
Hameran Cream の外痔核に対する効果	三 枝 純 郎 (694)
白血球減少防止に対するグラビトンの使用経験	堀 川 嘉 也・他 (840)
8% Xylocaine Spray による気道内噴霧	松 尾 康 生 (845)
収縮性心膜炎の1治験例	佐 藤 寛・他 (967)
左側精静脈瘤患者に精静脈造影を行なった経験	曾 柳 村 (973)
脊髄膜病巣を後遺した粟粒結核の手術治験	山 田 勝 (979)
自然気胸を思わせた小児 Giant Bulla の1治験例	笠 川 脩・他 (984)
結腸拡張を伴う非特異性潰瘍性大腸炎について	今 尾 垣 裕・他 (1125)
Heparinoid (Hameran) の使用経験	神 谷 喜 作・他 (1130)

集 談 会

第26回岐阜外科集談会	(150)
第27回岐阜外科集談会	(696)
第28回岐阜外科集談会	(698)
第29回岐阜外科集談会	(700)
第30回岐阜外科集談会	(988)

第 3 3 卷 索 引

人 名 索 引

A

阿部 弘毅	411
天野繁三郎	458
浅井 敬二	831
朝隈 六郎	297
荒木 靖生	453
嵐 修康	617

B

伴 敏彦	941
------	-----

E

荏原 光夫	314
江口 隆	601
遠渡 正夫	678
円山 迪雄	453, 984

F

藤井 充	683
藤村 英夫	134
藤原 憲和	450
福田 勝次	453
福光 太郎	329
古田 睦広	140
原田 繁	458
長谷部祐継	220
橋本 欣也	601
早野 薫夫	1050
林 和也	840
挟間 章忠	120
日笠 頼則	411, 601
姫野 純也	913
平野 穰	601
広谷 速人	650
広野 禎介	526
本庄 一夫	439, 1009
堀川 嘉也	840

I

池内 彰	450
------	-----

今尾 恒裕	1125
井波 健一	849
大塚 増夫	671
石上 浩一	812
石川 滋	923
磯橋 保	445
板谷 博之	134
伊藤 和文	770
伊東 達次	1125
岩藤 隆昭	831
岩本 洋三	458

K

門脇 宏	458
景山 直樹	1116
上村 素彦	439
神谷 喜作	1130
金子 弘	458
笠川 脩	134, 453, 984
柏原 宝爾	831
加藤 敬司	439
加藤 忠雄	724
川西 秀徳	120
川野 武彦	959
菊地 厚	450
木下 辰男	665, 812
岸 智	434
北川 勳	178
北村 元男	831
小林 淳一	831
小河 一夫	812
高 宅 洙	626
小無田 浩	1060
小長 英二	831
好地 衛	140
倉田 昌彦	812
黒田 克彦	967

M

前原 利仁	1130
枅岡 進	134

松田 晋	948
松森 茂	683
松尾 康生	845
松尾 裕	428
丸川 美郎	671
丸山 泉	601
三崎 英生	134, 434
三谷 哲美	484, 1116
三浦 律男	581
宮沢 英夫	275
水本 龍二	439, 1009
森 保規	120, 812
森岡 哲吾	445, 1023
村山 保雄	148

N

永松 良夫	753
中村 諭	665
中谷元太郎	458
成田 一作	1130
新家 満	450
西嶋 義信	665
西川 真澄	252
西井 弘	1122
西尾 功	561
西崎 保	1130
新田 隆敬	703
野末 洋	101

O

緒方 武	411, 812
岡 宏	1
岡村 芳樹	967
岡嶋 邦雄	831
沖 良次	450
恩地 裕	404
小野 博通	16
小野 久弥	800
長田 博之	1122
大沢 一博	434

S

斉藤 惇生	411
坂野 昭	445

佐古 英二	959
崎田 重康	153
佐藤 寛	967
佐々木 英	1050
佐々木進次郎	134, 984
佐々木 俊	1050
染田 邦幸	1116
重永 正之	148
島田喜一郎	377
清水 正二	458
塩田 隆三	601
城谷 均	411, 941
杉山 公二	678
鈴木 徹	361, 1116
諏訪 正美	876
曾 柳村	869, 973

T

田口 雄一	671
高橋 宏	145
高鍋 温是	959
武田 惇	948, 812, 411
田中 秀直	959
谷 栄一	469
谷村 弘	601
龍田 憲和	941, 948
寺西 輝高	434
寺浦 哲昭	665
戸部 隆吉	140
富岡 啓郎	411
登根 一広	79
辻 宏	995
津嶋 昭平	967
都志見久令男	411
辻本 嘉助	458

U

上田 喜生	404
植木 碕雄	1082
上道 哲	671
内田耕太郎	24
内山 輝美	53

W

渡辺 良	140
渡辺 勉	439

Y

山田 勝	979
山田 淳介	650

山本 泰次	840
山内 陽一	665
吉田 耕造	502
吉田 良行	411. 812
吉永 道生	601
吉野 位	145
吉檜 正博	650

物 件 索 引

A

アイソトープ	484
アセチルチムステイン	428
アルミナクリーム	617
アルキル化剤	1082
アレスト反応	1

B

ブドウ球菌	626
-------	-----

C

Chilaiditi症候群	678
超音波減衰度	923
腸間膜リンパ節	561
腸重積症	450
聴神経腫瘍	1116
虫垂カルチノイド	120

D

電子顕微鏡	329, 469
-------	----------

E

エストロゲン	252
エールリッヒ癌	753

F

Fibrin 薄膜	959
腹腔動脈	876
副腎皮質癌	453

G

外痔核	694
癌化学療法	581
グラビトン	840
白血球減少防止	840

H

ハメラン	1130
ハメラン・クリーム	694
脾臓	849
臍ヘルニア	148

ヘパリノイド	1130
--------	------

I

胃液分泌	1050
胃癌	561, 1023
——, 十二指腸進展	1023
異型鎖骨下動脈	812
胃細網肉腫	445
インシュリン	252

J

自動免疫	16, 753
上腸間膜静脈—股静脈 Bypass	178
若年者胃十二指腸潰瘍	439
人工心臓	941

K

海綿状血管腫	377
開心術	411
潰瘍性大腸炎	1125
肝左葉摘除	665
肝線維肉腫	665
——, 腫瘍	526
——, 硬変	220
肝腎関係	53
——, 内神経	220
キシロカイン噴霧	845
胸管リンパ液	876
橋脳グリオーマ	1116
巨大血栓	948
巨細胞性神経膠芽腫	350
区域的門脈血遮断	526
血液凝固系	941
血中腫瘍細胞	24
急性脾炎	703
頸部食道癌	434
頸動脈血栓	502
頸髄損傷	404
頸椎々間板ヘルニア	101
抗原性	297
甲状腺	849

コレステロール系結石..... 601

M

マイトマイシン..... 753

マンソン氏条虫..... 145

無症状胆石..... 140

門脈..... 275

——，犬..... 79

——，遮断..... 178

——，圧亢進症..... 134

——，下大静脈吻合..... 1050

N

ナイトロジェン・マスタード..... 297, 876

乳癌..... 16

内分泌臓器..... 617

脳浮腫..... 314, 869, 995

脳腫瘍..... 484

——，診断..... 770

脳幹..... 1

脳下垂体腺腫..... 329

脳梗塞..... 361

脳低酸素血症..... 361

P

プラスミノゲン賦活剤..... 800

R

ラクソナリン..... 1122

淋巴性神経節炎..... 896

S

SC-7525..... 683

自然気胸..... 671, 984

脂質代謝..... 995

視床下..... 617

手術室汚染..... 626

腫瘍細胞分裂..... 381

松果体..... 913

心膜炎..... 967

心房内粘液腫..... 948

脾全剝..... 252

精静脈瘤..... 973

——，造影..... 973

生殖器..... 913

脊髓膜病巣..... 973

制癌化学療法..... 724

仙尾部奇形腫..... 458

僧帽弁膜症..... 948

T

多発性骨髄腫..... 650

胆石..... 601

担癌宿主..... 1009

蛋白同化ステロイド..... 831

——，ホルモン..... 683

超音波パルス法..... 770

低体温法..... 581, 724

転移リンパ節..... 153

糖脂質代謝..... 995

トヨマイシン..... 753

トリブシン..... 703

——，抑制剤..... 800

U

遊離結腸移植..... 434

Y

沃度剤..... 377

Z

粟粒結核..... 979

CONTENS OF VOLUME 33

Electrophysiological Studies on the Arrest Reaction Elicited by the Brain Stem „Stimulation	HIROSHI OKA (1)
Induction of Active Immunity against Isologous Tumors by in Vivo Conjugation of Heterologous Serum Protein with Autolysing Tumor Tissue.....	HIROMICHI ONO (16)
Clinical and Experimental Study on the Tumor Cells in the Blood.....	KOTARO UCHIDA (24)
Experimental Studies of Hepatorenal Relationship from the Surgical Point of View.....	TERUMI UCHIYAMA (53)
Pathophysiology of the Liver of Hepatic Artery Ligated Dogs (Portal Dogs), with Special Reference to Their Tolerance to Shock.....	KAZUHIRO TONE (79)
Follow-up Study on Surgery of Cervical Central Disk Protrusion.....	Yo NOZUE (101)
A Case of Malignant Appendiceal Carcinoid: Some Histochemical and Electron Microscopic Observations, and a Short Review of Carcinoid in Japan.....	ATSUMI MORI, et al. (120)
Two Cases of Portal Hypertension Treated Successfully by Mesenteric-Caval Shunt.....	HIDEO MISAKI, et al. (134)
Surgical Indications for "Silent Gallstones" on the Basis of Pathological Finding.....	TAKAYOSHI TOBE, et al. (140)
Subcutaneous Tumor Formation by Sparganum Mansonii in Man.....	TADASHI YOSHINO, et al. (145)
A Case of Incarcerated Infantile Umbilical Hernia.....	MASAYUKI SHIGENAGA, et al. (148)
An Experimental Study on the Behavior of Metastasized Regional Lymphnode after Removal of the Primary Tumor.....	SIGEYASU SAKITA (153)
An Experimental Study on Temporary Portal or Superior Mesenteric-Femoral Vein Bypass at the Acute and Complete Interruption of the Portal Vein.....	ISAO KITAGAWA (178)
Studies on the Intrahepatic Nerves in Cirrhotic Liver.....	SUKETSUGU HASEBE (220)
Estrogen Response in Totally Depancreatized Female Gogs under Insulin Treatment	MASUMI NISHIKAWA (252)
An Experimental Study on Insertion of Vinyl Tube in Portal Vein.....	HIDEO MIYAZAWA (275)
Antigenicity of Nitrogen Mustard-treated Guinea Pig Serum to Guinea Pigs.....	ROKURO ASAKUMA (297)
Biochemical Studies on Experimental Brain Edema.....	MITSUO EBARA (314)
Electron Microscopic Study of the Human Pituitary Adenomas.....	TARO FUKUMITSU (329)
Nature of So-Called Giant-Cellled Glioblastomas.....	TARO FUKUMITSU (350)
Histochemical Studies on Experimentally Induced Hypoxia and Infarction in the Brain.....	TAKASHI SUZUKI (361)
Injection Therapy by Iodide Material or Other Drugs for Cavernous Hemangioma and the Neuro-Histologic Study.....	KIICHIRO SHIMADA (377)
Classification of Cervical Cord and Root Injuries Based on Neurological Symptoms	YUTAKA ONJI, et al. (404)
Experimentelle und Klinische Erfahrungen Über Offene Herzchirurgie.....	YORINORI HIKASA, et al. (411)
Reconstruction of the Cervical Esophagus with an Isolated Revascularized Segment of the Transverse Colon After the Resection for Carcinoma.....	KAZUHIRO OSAWA, et al. (434)
Clinical Trial of Acetyl Cysteine.....	YUTAKA MATSUE (428)
Report of 4 Cases of Gastroduodenal-Ulcer in Young Adults.....	ICHIO HONJO, et al. (439)
A Case of Reticulosarcoma of the Stomach.....	TETSUGO MORIOKA, et al. (445)
The Treatment of the Intussusception in Infancy and Childhood.....	AKIRA IKEUCHI, et al. (450)
A Case Report of Nonfunctioning Adreno-cortical Carcinoma.....	YASUO ARAKI, et al. (453)
Malignant Sacrococcygeal Teratoma in an Infant: Report of a Case.....	HIROSHI KADOWAKI, et al. (458)
Electron Microscopic Study on Pathogenesis of Cerebral Edema in the White Matter.....	EIICHI TANI (469)
A Study on Phosphorus Uptake of Brain Tumor by Radioactive Isotope in Relation to Histological Findings.....	TETSUMI MITANI (484)
Experimental Studies on the Production and Treatment of the Carotid Thrombosis in Dogs.....	KOUZO YOSHIDA (502)
Effect of Segmental Interruption of Portal Venous Blood Supply on Implanted Tumor in the Liver of Rats.....	TEISUKE HIRONO (526)
Mesenteric Lymph Node Reaction and Prognosis of Gastric Cancer.....	ISAO NISHIO (561)
In-Vivo Synchronous Mitosis of Cancer Cells Induced by Hypothermia and its	

Application to Cancer Chemotherapy.....	RITSUO MIURA (581)
Initiating Factors of Gallstones, Especially Cholesterol Stones.....	YORINORI HIKASA, et al. (601)
Experimental Study of Pathological Changes of Endocrine Organs of the Adult	
Male Cat Administrated Alumina Cream to Hypothalamus.....	NOBUYASU ARASHI (617)
Studies on the Control of Staphylococcal Infection in the Hospital.....	TAEK-SOO KOH (626)
Multiple Myeloma	HAYATO HIROTANI (650)
Primary Fibrosarcoma of the Liver Treated by the Left Lobectomy.....	YOICHIRO YAMAUCHI, et al. (665)
On 8 Cases of Spontaneous Pneumothorax.....	AKIRA UEMICHI, et al. (671)
Chilaiditi's Syndrome in Child.....	MASAO ENDO, et al. (678)
Clinical Experiences with Anabolic Steroid (SC-7525) in the Treatment of	
Orthopaedic Diseases	SHIGERU MATSUMORI, et al. (683)
Topical Administration of Hameran Cream for External Haemorrhoid.....	SUMIO SAIGUSA (694)
Attitude of Trypsin in Experimental Acute Pancreatitis.....	TAKATOSHI NITTA (703)
Experimental Studies on Application of Hypothermia to Cancer Chemotherapy.....	TADAO KATO (724)
Studies on Active Immunization of Mice with Mitomycin and Toyomycin-	
Prepared Ehrlich Ascites Carcinoma Tissue.....	YOSHIO NAGAMATSU (753)
The Clinical Application of Ultrasonics to the Localization of Brain Tumors.....	KAZUFUMI ITO (770)
Studies on the Influence of Surigal Procedure upon the Plasminogen Activator	
and Trypsin Inhibitor in Urine.....	HISAYA ONO (800)
New Approach to Dysphagia Lusoria due to the Aberrant Right Subclavian	
Artery	KOICHI ISHIGAMI, et al. (812)
Experiences of Pre-and Post-operative Administration of Protein Anabolic Ste-	
roid for Digestive Tract Surgery.....	KUNIO OKAJIMA, et al. (831)
Graviton for Leukopenia.....	YOSHIYA HORIKAWA, et al. (840)
A Clinical Study on the Topical Anesthesia by Tracheal Spraying with 8%	
Xylocaine	YASUO MATSUI (845)
Effect of the Spleen on the Thyroid Gland.....	KENICHI INAMI (849)
Nitrogen Mustard N-Oxide Content in the Thoracic Duct Lymph After Arterial	
Infusion from Celiac Axis.....	MASAMI SUWA (876)
An Experimental Study of the Lymphogenous Inflammation of Nerve Ganglia.....	LIU-TSUN TSENG (896)
Interrelation Between the Pineal Body and the Somato-Sexual Development.....	JUNYA HIMENO (913)
Attenuation of Ultrasound in Brain Tissue.....	SHIGERU ISHIKAWA (923)
Zur Frage des Perfusionsbluts. mit Besonderer Berücksichtigung auf Seinen	
Einfluss auf Blutgerinnungsstörungen Während und nach Extrakorporealem	
Kreislauf.....	NORIKAZU TATSUTA, et al. (941)
Cases of a Myxoma and a Massive Thrombus in the Left Atrium, with Refer-	
ence to the Problem of Surgical Correction for Mitral Valvular Diseases.....	NORIKAZU TATSUTA, et al. (948)
On the preparation and the property of the fibrin film.....	EIJI SAKO, et al. (959)
A Case of Constrictive Pericarditis.....	HIROSHI SATO, et al. (967)
Experiences of Venography of the Left Spermatic Veins in the Patients Suffer-	
ing from Varicosities.....	LIU-TSUN TSENG (973)
A Surgically Treated Case of Tuberculous Lesions in the Spinal Meninges Left	
by Miliary Tuberculosis.....	MASARU YAMADA, et al. (979)
A Case of Giant Bulla in Child.....	OSAMU KASAGAWA (984)
Lipids Metabolism in the Cerebral Edema Glycolipids Metabolism in the Ex-	
perimentally Produced Cerebral Edema.....	HIROSHI TSUJI (995)
Host Resistance against Cancer after Removal of Primary Tumor.....	RYUJI MIZUMOTO, et al. (1009)
A Pathohistological Study on the Extension of Carcinoma of the Stomach into	
the Duodenum	TETSUGO MORIOKA (1023)
Clinical and Experimental Studies on Gastric Secretion Following Portacaval	
Shunt	SHUN SASAKI, et al. (1050)
The Effect of Gibberellin on the Growth of Transplantable Mouse Tumors.....	HIROSHI KOMUTA (1060)
Experimental Studies on Neutralization of systemic toxicity of Alkylating agents	
by Sodium Thiosulfate.....	SHIGEO UEKI (1082)
Pons Gliomas Presenting Symptoms Similar to That of Acoustic Neurinomas.....	NAOKI KAGEYAMA, et al. (1116)
Clinical Effects of Laxonalin.....	HIROYUKI OSADA, et al. (1122)
Nonspecific Ulcerative Colitis with Dilatation of the Colon : Report of a Case.....	TSUNEHIRO IMAO, et al. (1125)
The Clinical use of Heparinoid (Hameran)	KISAKU KAMIYA, et al. (1130)

INDEX OF VOLUME 33

NAME

A

Abe Koki	411
Amano Shigeru	458
Asai Keiji	831
Asakuma Rokuro	297
Araki Yasuo	453
Arashi Nobuyasu	617

B

Ban Toshihiko	941
---------------	-----

E

Ebara Mitsuo	314
Eguchi Takashi	601
Endo Masao	678
Enzan Michie	453, 984

F

Fujii Mitsuru	683
Fujimura Hideo	134
Fujiwara Norikazu	450
Fukuda Katsuji	453
Fukumitsu Taro	329
Furuta Mutsuhiro	140

H

Harada Shigeru	458
Hasebe Suketsugu	220
Hashimoto Kinya	601
Hayano Shigeo	1050
Hayashi Kazuya	840
Hazama Fumitada	120
Hikasa Yorinori	411, 601
Himeno Junya	913
Hirano Minoru	601
Hirofumi Hayato	650
Hirono Teisuke	526
Honjo Ichio	439, 1009
Horikawa Yoshiya	840

I

Ikeuchi Akira	450
Imao Tsunehiro	1125
Inami Kenichi	849
Inuzuka Narao	671
Ishigami Koichi	812
Isshikawa Shigeru	923
Isobashi Tamotsu	445
Itaya Hiroyuki	134

Ito Kazufumi	770
Ito Tatsuji	1125
Iwado Takaaki	831
Iwamoto Yozo	458

K

Kadowaki Hiroshi	458
Kageyama Naoki	1116
Kamimura Motohiko	439
Kamiya Kisaku	1130
Kaneko Hiroshi	458
Kasagawa Osamu	134, 453, 984
Kashihara Eiji	831
Kato Shoji	439
Kato Tadao	724
Kawanishi Hidenori	120
Kawano Takehiko	959
Kikuchi Atsushi	450
Kinoshita Tatsuo	665, 812
Kishi Satoru	434
Kitagawa Isao	178
Kitamura Motoo	831
Kobayashi Junichi	831
Kogawa Kazuo	812
Koh Toek-Soo	626
Komuta Hiroshi	1060
Konaga Eiji	831
Kouchi Mamoru	140
Kurata Masahiko	812
Kuroda Katsuhiko	967

M

Maehara Toshuto	1130
Masuoka Susumu	134
Matsuda Susumu	948
Matsumori Shigeru	683
Matsuo Yasuo	845
Matsuo Yutaka	428
Marukawa Yoshio	671
Maruyama Izumi	601
Misaki Hideo	434
Misaki Hideo	134
Mitani Tetsumi	484, 1116
Miura Ritsuo	581
Miyazawa Hideo	275
Mizumoto Ryuji	439, 1009
Mori Atsumi	120, 445, 812
Morioka Tetsugo	1023
Murayama Yasuo	148

N

Nagamatsu Yoshio	753
Nakamura Satoshi	665
Nakatani Gentaro	458
Narita Issei	1130
Niinomi Mitsuru	450
Nishijima Yoshinobu	665
Nishikawa Masumi	252
Nishii Hiroshi	1122
Nishio Isao	561
Nishizaki Tamotsu	1130
Nitta Takatoshi	703
Nozue Yo	101

O

Ogata Takeshi	411, 812
Oka Hiroshi	1
Okamura Yoshiki	967
Okajima Kunio	831
Oki Yoshitsugu	450
Onji Yutaka	404
Ono Hiromichi	16
Ono Hisya	800
Osada Hiroyuki	1122
Osawa Kazuhiro	434

S

Saito Atsuo	411
Sakane Akira	445
Sako Eiji	959
Sakita Sigeyasu	153
Sato Hiroshi	967
Sasaki Ei	1050
Sasaki Shinjiro	134
Sasaki Shinjiro	984
Saski Shun	1050
Someda Kuniyuki	1116
Shigenaga Masayuki	148
Shimada Kiichiro	377
Shimizu Shoji	458
Shioda Ryuzo	601
Shirotani Hitoshi	411, 941
Sugiyama Koji	678
Susuki Takashi	1116

Suwa Masami	876
Suzuki Takashi	361

T

Taguchi Yuichi	671
Takahashi Hiroshi	145
Takanabe Atuyuki	959
Takeda Jun	411, 812, 948
Tanaka Hidenao	959
Tani Eiichi	469
Tanimura Hiroshi	601
Tatsuta Norikazu	941, 948
Teranishi Terutaka	434
Teraura Tetsuaki	665
Tobe Takayoshi	140
Tomioka Yoshiro	411
Tone Kazuhiro	79
Tseng Liu-Tsun	896, 973
Tsuji Hiroshi	995
Tsushima Akihira	967
Tsushimi Kureo	411
Tsuzimoto Kasuke	458

U

Ueda Kisei	404
Ueki Shigeo	1082
Uemichi Akira	671
Uchida Kotaro	24
Uchiyama Terumi	53

W

Watanabe Ryo	140
Watase Tsutomu	439

Y

Yamada Masaru	979
Yamada Junsuke	650
Yamamoto Taiji	840
Yamauchi Yoichiro	665
Yoshida Kouzo	502
Yoshida Yoshiyuki	411, 812
Yoshinaga Michio	601
Yoshio Tadashi	145
Yoshizumi Masahiro	650

INDEX OF VOLUME 33

A

Aberant right subclavian artery	812
Acetyl Cysteine	428
Active immunity	16
Active immunization	753
Acoustic Neurinoma	1116
Acute Pancreatitis	703
Adreno- cortical Carcinoma	453
Alkylating agents	1082
Alumina cream	617
Anabolic Steroid	683
Appendical Carcinoid	120
Arrest Reaction	1
Arterial infusion	876

B

Blutgerinnungs stoerungen.....	941
Brain edema.....	314
—, tumor.....	484, 770

C

Cancer cells	581
—, Chemotherapy	724
—, Hypothermia	581
Carotid thrombosis	502
Cavernous hemangioma	377
Celiac axis	876
Cerebral edema.....	995
Cerebral edema.....	496
Cervical cord	404
—, Central Disk Protrusion	101
—, esophagus	434
Chilaiditi's syndrome	678
Cholesterol stone	601
Cibberllin	1060
Cirrhotic liver	220
Contractive pericarditis	967

D

Dysphagia lusoria	812
-------------------------	-----

E

Electron Microscopy	120, 329, 469
Ehlich ascites carcnoia.....	753
Endocrine organ	617
Estrogen Response	252
External hemorrhoid	694
Extrakorporeales Kreislauf	941

F

Fibrin film	959
Fibrosarcoma.....	665

G

Gallstone	601
Gastric Cancer	561
Gastric secretion.....	1050
Gastroduodenal Ulcer	439
Giant Bulla	984
Giant-Cellled glioblastoma	350
Gibberelin	1060
Glycolipids metabolism	995

H

Hameran	1130
—, cream	694
Hepatic artery ligated dogs.....	79
Heparinoid	1130
Hepatorenal relationship	53
Host resistance	1009
Hypothermia.....	581, 724
Hypothalamus	617
Hypoxia in the Brain.....	361

I

Implanted tumor in the liver.....	526
Infarction in the Brain	361
Intussusception	450
Intrahepatic nerves	220
Insulin	252

J

Jodide Material	377
-----------------------	-----

L

Laxanolin	1122
Left lobectomy of the Liver.....	665
Leukopenia	840
Lipid metabolism.....	995
Lymphogenous inflammation of nerve development	896

M

Massive thrombus in the Atrium.....	948
Metastasized regional lymphnode	153
Mesenteric-Caval shunt	134
Mesenteric lymph Node.....	561
Mitral valvular disease	948

Mitomycin	753
Miliary tubercalosis	979
Multiple Myeloma	650
Myxoma in the heart	948

N

Nitrogen Mustard	297
Nitrogen Mustard	876

O

Offene Herzchirurgie	411
----------------------------	-----

P

Perfusion	941
Pineal body	913
Pituitary Adenoma	329
Plasminogen activator	800
Pons glioma	1116
Portacaval shunt	1050
Portal vein	275, 527
——, Hypertension	134
——, Mesenteric-femoral Vein Bypass	178
Protein Anabolic Steroid	831

R

Radioactive isotope	484
Reticulosarcoma of the stomach	445
Root injury	404

S

Sacroccygeal Teratoma	458
Silent Gallstones	140
Sodium thiosulfate	1082

Sodium thiosulfate	1082
Somato-Sexual development	913
Sparganum Mansoi	145
Spermatic vein	973
Spleen	849
Spontaneous pneumothorax	671
Staphylococcal Infection	626
Stomach cancer duodenal extension	1023
Superior mesenteric-femoral Vein By-pass	178
Synchronous Mitosis	581

T

Thoracic duct lymph	876
Thyroid gland	849
Totally depancreatized dogs	252
Toyomycin	753
Trypsin	703
——, inhibitor	800
Tuberculosis in spinal meninges	979
Tumor cells in Blood	24

U

Ulcerative colitis	1125
Ultrasonics	770
Ultrasound	923
Umbilical Hernia	148

V

Varicosities	973
Venography	973

X

Xylocaine Spray	845
-----------------------	-----

投稿規定(昭.36.2.1改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊)。状況により臨時増刊を発行する。

○本誌予約購読者の原稿を掲載する。

○予約購読料は年額1,500円(送料を含む)とし, 分売は1冊300円とする。

○原稿の長さはおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添附されたい。

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編集室へ到達した日附を受付日とする。

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事。この際は「」不要。

○数量の単位は下記の例による。

例, m, cm, mm, cc, kg, g, C, μ ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事。

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い。

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く。)

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で書き, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附のこと。また, その挿入位置を原稿に記入する事。

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添附し本文中には挿入箇所のみ指定する事。

○原稿は完全なものとして御送附願いたい。校正の際における加筆補正は認めない。

○引用文献は篇末に集め, 次の例による。

(氏名) (表題)
Beatson, G. T. : On the treatment of inoperable
(雑誌名)(巻)
case of carcinoma of the mamma. Lancet, 2 :

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀 : 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学, 6 : 769, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする。但し症例報告は3頁までは無料とし, これを越すものに対しては実費を徴収する。アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする。

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする。

○執筆者において別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける。

○原稿は書留郵便で下記に送られたい。

○なお原稿は返却しない。

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室

日本外科宝函編集室宛

電 ㊦ 8111 構内 427の乙

昭和39年2月20日印刷

昭和39年3月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

木村忠司

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

立石健三

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

東洋印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 木村忠司

(振替口座京都3691番)

投稿規定(昭.36.2.1改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,500円(送料を含む)とし, 分売は1冊300円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編集室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による.

例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い.

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く.).

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附のこと. また, その挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添附し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T. : On the treatment of inoperable
(雑誌名) (巻)
case of carcinoma of the mamma. Lancet, 2 :

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀 : 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6 : 769, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告は3頁までは無料とし, これを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする.

○執筆者において別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

○なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室

日本外科宝函編集室宛

電 ⑦ 8111 構内 427の乙

昭和39年4月20日印刷

昭和39年5月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

木村忠司

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

立石健三

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

東洋印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 木村忠司

(振替口座京都3691番)

投稿規定(昭.36.2.1改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊)。状況により臨時増刊を発行する。

○本誌予約購読者の原稿を掲載する。

○予約購読料は年額1,500円(送料を含む)とし, 分売は1冊300円とする。

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添附されたい。

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編集室へ到達した日附を受付日とする。

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事。この際は「」不要。

○数量の単位は下記の例による。

例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事。

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い。

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く。)

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附のこと。また, その挿入位置を原稿に記入する事。

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添附し本文中には挿入箇所のみ指定する事。

○原稿は完全なものとして御送附願いたい。校正の際における加筆補正は認めない。

○引用文献は篇末に集め, 次の例による。

(氏名)

(表題)

Beatson, G. T. : On the treatment of inoperable
case of carcinoma of the mamma. Lancet, 2:

(雑誌名)(巻)

(頁)(年代)

104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6: 769, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする。但し症例報告は3頁までは無料とし, これを越すものに対しては実費を徴収する。アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする。

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする。

○執筆者において別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける。

○原稿は書留郵便で下記に送られたい。

○なお原稿は返却しない。

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編集室宛

電 ⑦ 8111 構内 427の乙

昭和39年8月20日印刷

昭和39年9月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

木村忠司

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

立石健三

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

東洋印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 木村忠司

(振替口座京都3691番)

手術後疼痛

諸種の疾患に伴う疼痛

手術前処置・強化麻酔に

強力な効果を示す

デドラン注

クロルプロマジン配合の類似製剤に比べ……………

- 強力な鎮痛作用を有する
- 注射局所の刺激性は軽微である

などの特長をそなえています。

1 管 2 cc 中

塩酸レボメプロマジン(ヒルナミン)……………15mg

塩酸プロメタジン(ピレチア)……………6 mg

エチルヘキサビタール・アミノピリン

分子化合物……………80mg

アミノピリン……………40mg

適応症 ① 手術後疼痛

- ② 諸種の疾患に伴う疼痛——例えば胆嚢炎、胆石症、腸癒着、腸狭窄、胃・十二指腸潰瘍、胃炎、胆石症などの場合の鎮痛・鎮静

③ 手術前処置(前麻酔・基礎麻酔), 強化麻酔

包 装 2cc 10管, 50管

〔健保適用〕 2cc 64円・00

大阪市道修町 **シオノギ製薬**

難症の関節リウマチに

複合抗リウマチ剤

デルタ・ ブタゾリン[®]

健保適用

1錠 30円20

デルタ・ブタゾリンは 2種類の抗リウマチ剤—ブタゾリン プレドニゾン—が合理的に配合された製剤です。

2成分の相乗効果により、少量のプレドニゾンで確実な効果が期待できますので副腎皮質機能低下等の副作用がさけられます。

デルタ・ブタゾリンは 炎症のはげしい頑固なリウマチ疾患の治療に好適です。

〔適 応〕 慢性関節リウマチ、 強直性脊椎炎
変形性関節症、 単純性関節炎

〔包 装〕 錠 30T ・ 100T ・ 500T

〔文献・試供品〕 お申込次第進呈



大阪市東区道修町4 藤沢薬品 (東京・名古屋・広島・福岡・札幌)

投稿規定(昭.36.2.1改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,500円(送料を含む)とし, 分売は1冊300円とする.

○原稿の長さはおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編集室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による.

例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び和文抄録はタイプライターで記入され度い.

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く.).

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附のこと. また, その挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添附し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は簡表に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T. : On the treatment of inoperable
(雑誌名)(巻)
case of carcinoma of the mamma. Lancet, 2 :

(頁)(年代)
101, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6: 769, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告は3頁までは無料とし, これを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする.

○執筆者において別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

○なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編集室宛

電 ⑦ 8111 構内 427の乙

昭和39年10月20日印刷

昭和39年11月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

木村忠司

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

立石健三

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

東洋印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 木村忠司

(振替口座京都3691番)